

## 2. 都市環境気候図の体系

先に整理した都市環境気候図の第1階層及び第2階層の対象空間スケール別に、ヒートアイランド対策の検討目的と都市環境気候図の対応について整理した。なお、本調査においては、都市熱環境の現況把握及び要因分析のための都市環境気候図の検討に重点を置くものとする。

表2 ヒートアイランド現象把握及び対策検討目的と都市環境気候図の対応関係

階層	検討の目的	作成される都市環境気候図
第1階層	ヒートアイランド現象の把握	気温分布図 (気温、暴露時間)
	広域風系、局地風等の把握	気流分布図 (風配図、風向風速場図)
第2階層	都市内の熱環境の把握	気温分布図 (気温、暴露時間)
	都市の風環境の把握 (暑熱緩和に寄与する海風、夜間の冷気流)	気流分布図 (風配図、風向風速場図)
	地表面の形態の把握(地形、構造物)	標高図、地表面起伏図
	被覆面状況の把握	建物分布図、天空率図、粗度長図
		土地利用分布図
		植生・水面分布図
		地表面温度分布図
人工排熱等の発生状況の把握	人工排熱分布図	
	被覆面对流顕熱分布図	
	蒸発潜熱分布図	

上表に示す都市環境気候図のうち、網掛けされたものは基本的に観測データや実測データから直接作成される図であり、四角で囲まれたものはデータの加工処理やシミュレーションを必要とする図である。

各階層における都市環境気候図の体系について、平成13年度調査及び本調査において首都圏及び東京23区、港区の各スケールを対象として作成した地図を例として以下に示す。

第1階層の都市環境気候図(1/500,000 ~ 1/ 50,000 )

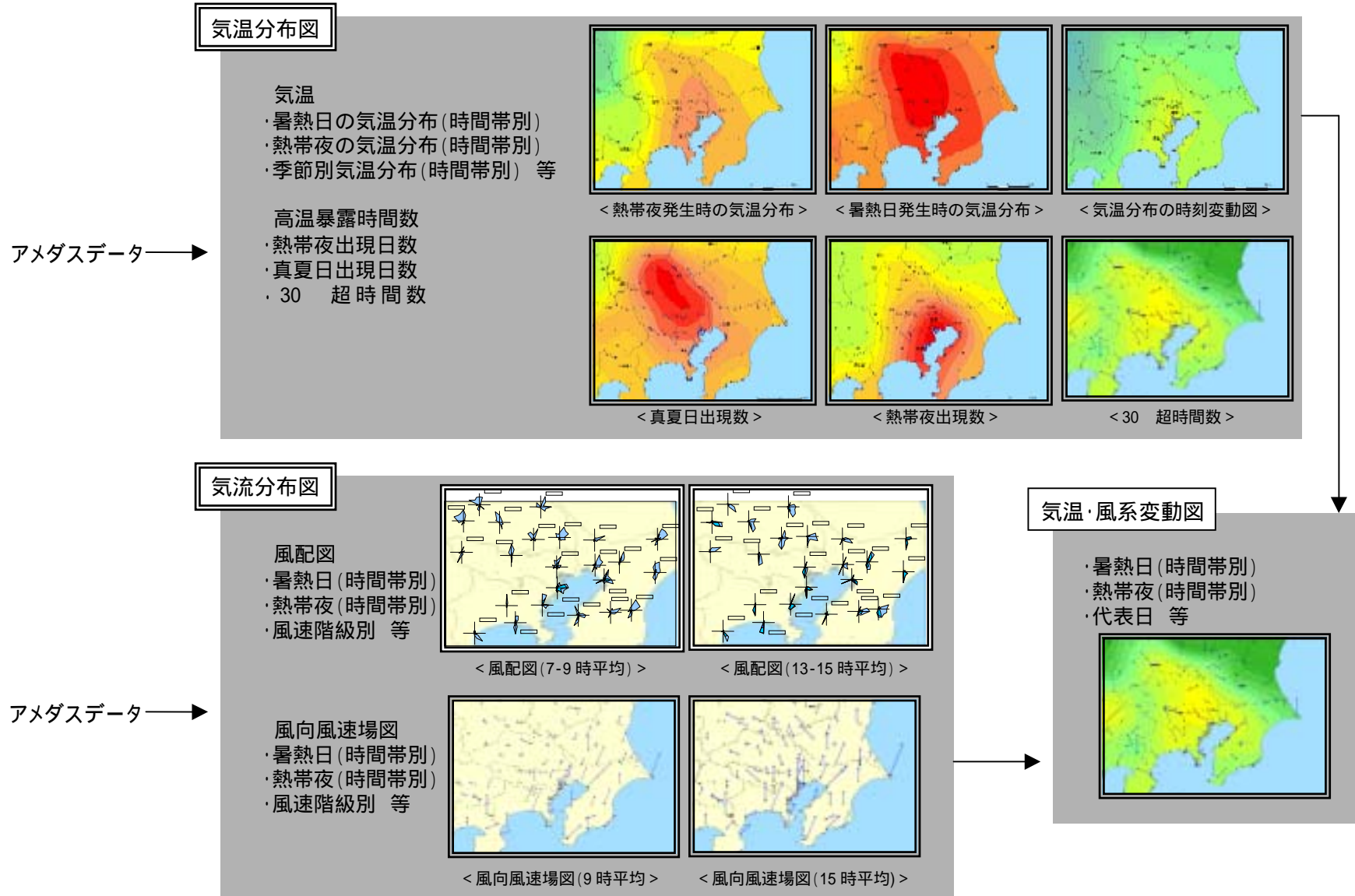


図1 都市環境気候図の体系(第1階層の都市環境気候図)

第2階層の都市環境気候図(1/30,000 ~ 1/3,000) : 都市気候の実態把握(東京23区)

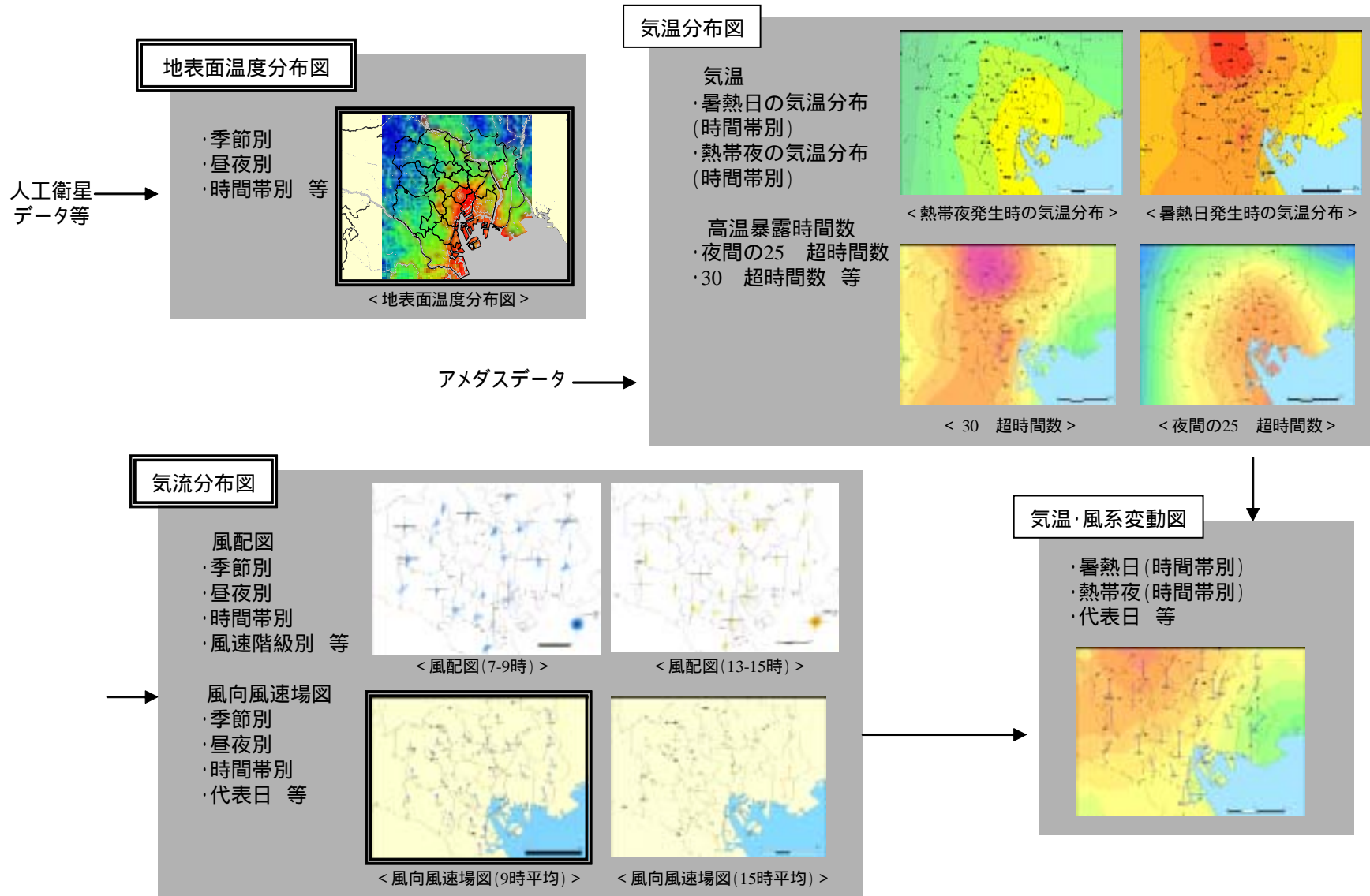


図2 都市環境気候図の体系(第2階層の都市気候の実態把握に関する都市環境気候図)